

旧スルガ産業周辺（行政代執行後）における環境監視の結果について

静岡県くらし・環境部 環境局 廃棄物リサイクル課
県東部健康福祉センター廃棄物課

1 趣 旨

旧スルガ産業による不法投棄現場の状況を確認し、県による行政代執行後の生活環境の支障判断に必要な情報を取得するため、平成25年7月から現場周辺のモニタリング(監視)を行っています。

2 現場周辺におけるモニタリング等

- (1) 現場内における斜面の崩落等の危険性目視（月一回）
- (2) 新たな廃棄物等の搬入監視（月一回）
- (3) 場内4箇所設置したからガス抜き管から発生するガスの有害性、濃度及び温度（月一回）
- (4) モニタリング井戸から採取した廃棄物層保有水のpH値等（月一回）及び水質分析（年一回）
- (5) 現場からの雨水が大沢川に流入する地点の上流側及び下流側の水質分析（年一回）

3 モニタリング等の結果

前年度に引き続いて実施した現場周辺のモニタリング等のほか、沼津市が例年実施している大沢川の河川水・周辺地下水の水質検査状況においても、これまでのところ周囲への汚染拡大や生活環境への支障を裏付ける兆候は確認されていません。

- (1) 上記2(3)に掲げる可燃性ガス濃度等・・・・・・〈別記1～3〉を参照
- (2) 上記2(4)及び(5)に掲げる水質分析・・・・・・〈別記4～5〉を参照

4 愛鷹山麓産業廃棄物不法投棄モニタリング検討委員会概要

ガス抜き管 No. 1、No. 2 においては廃棄物の分解が収束し、安定している。No. 3、No. 4 については好氣的分解が生じているが、井戸内発酵温度及び可燃性ガス濃度も減少傾向にあり、安定化に向かっていると推察される。

廃棄物保有水の pH は弱酸性から中性を推移しながら中性に向かっている。電気伝導率も低下している。これらのことから、嫌氣的分解も徐々に収まりつつあることが推察される。（廃棄物の分解が減少した結果、有機酸の生成が減少し、pH は中性に近づき、電気伝導率は低下する。）

モニタリング結果に問題はなく、埋立廃棄物は相当に安定している。

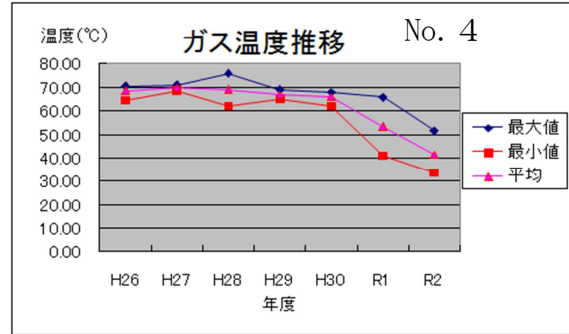
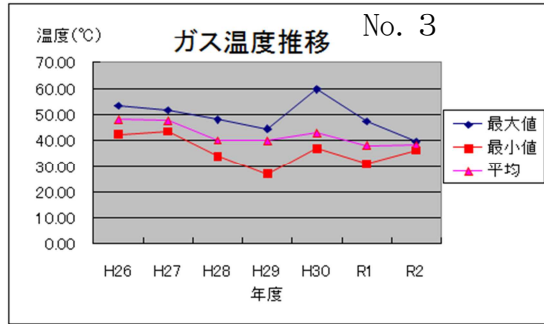
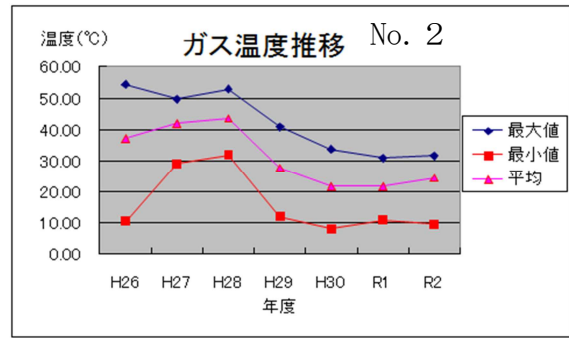
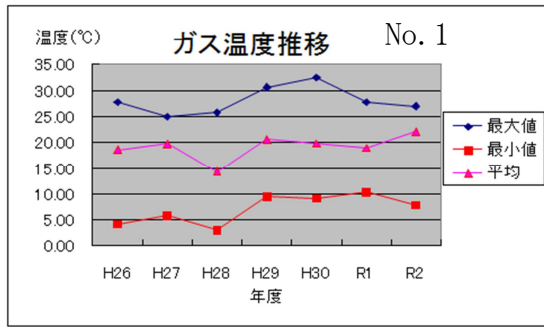
住民の皆様へ（お願い）

現在のところ河川環境や、皆様の身近な生活環境に影響を与えている兆候は見られません。一方、場内の地中から廃棄物の分解と考えられるガスの排出が続いていますので、県では当面、継続して廃棄物層内の安定状況などをモニタリング(監視)していきます。

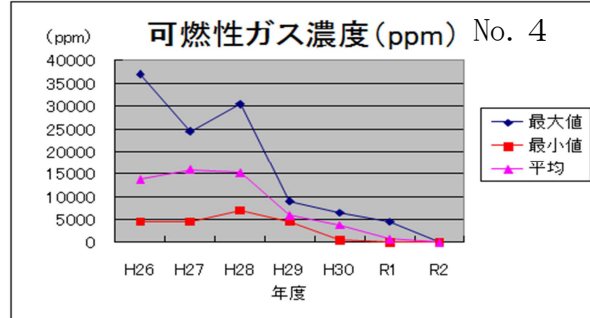
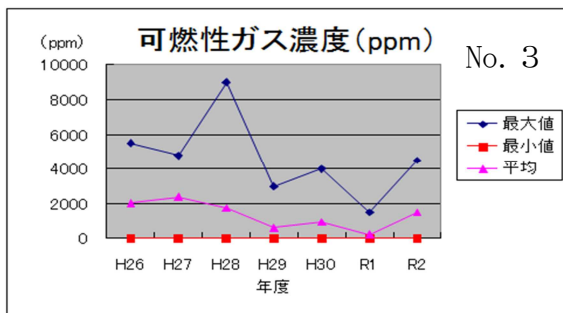
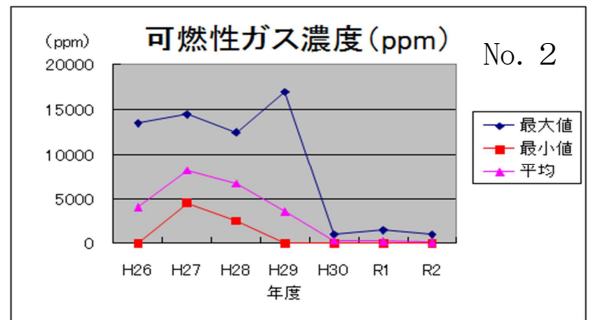
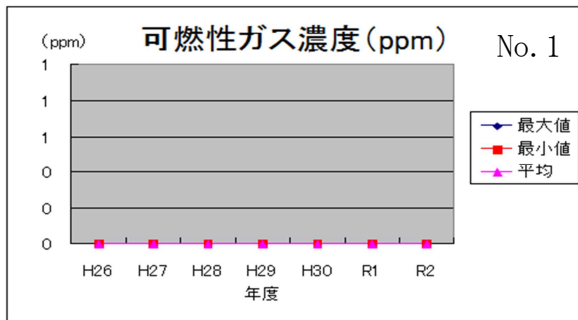
モニタリング等の結果は、自治会を通じて皆様に報告させていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、**怪我や事故に繋がる危険性がありますので、できるだけ現場内に立ち入らないよう御協力をお願いします。**

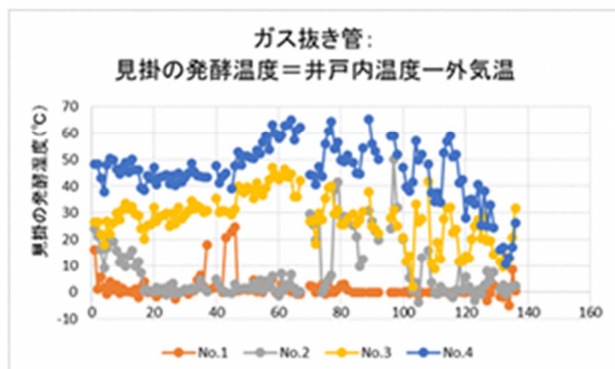
<別記1> ガス温度の推移



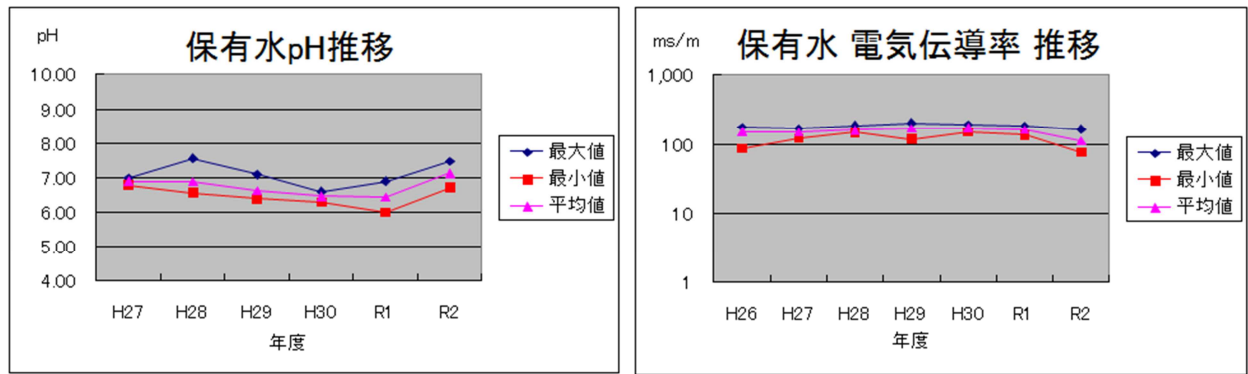
<別記2> 可燃性ガス濃度の推移



(別記3) 見掛の発酵温度の推移



<別記4> 廃棄物保有水（pH、電気伝導率の推移）



<別記5> 水質分析の結果

(※令和2年度は水量不足により検査ができなかったため、過去2年分の数値を参考に掲載しています。)

1 水の汚染状態等を示す項目

| 項目 | 基準 | 単位 | 廃棄物層保有水 | | 現場上流側（大沢川） | | 現場下流側（大沢川） | |
|------------|---------|------|-----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|
| | | | 令元. 6. 28 採取 | H30. 7. 30 採取 | 令元. 7. 4 採取 | H30. 8. 24 採取 | 令元. 7. 4 採取 | H30. 8. 24 採取 |
| 水素イオン濃度 | 5.8～8.6 | — | 7.0(25℃) | 7.4(26℃) | 7.5(23℃) | 7.4(26℃) | 7.4(23℃) | 7.5(26℃) |
| 電気伝導率 | — | mS/m | 102 | 150 | 4.98 | 4.1 | 4.38 | 4.8 |
| 生物学的酸素要求量 | 60以下 | mg/l | 37 | 21 | 0.8 | 0.5 | 1.0 | 0.5未満 |
| 化学的酸素要求量 | 90以下 | mg/l | 18 | 19 | 2.6 | 2.4 | 0.8 | 2.8 |
| 浮遊物質 | 60以下 | mg/l | 42 | 14 | 2.4 | 3.2 | 1.0未満 | 5.2 |
| 亜鉛含有量 | 2以下 | mg/l | 0.1未満 | 0.1未満 | 0.1未満 | 0.009 | 0.1未満 | 0.007 |
| 溶解性鉄含有量 | 10以下 | mg/l | 0.1未満 | 0.3 | 0.1未満 | 0.01未満 | 0.1未満 | 0.01 |
| 溶解性マンガン含有量 | 10以下 | mg/l | 0.1 | 0.3 | 0.1未満 | 0.01未満 | 0.1未満 | 0.01未満 |
| 大腸菌群数 | 3000以下 | ※1 | 3000未満 | 620 | 3000未満 | 47 | 3000未満 | 75 |
| 全窒素 | 120以下 | mg/l | 12 | 28 | 0.7 | 0.70 | 1.9 | 0.77 |
| 燐含有量 | 16以下 | mg/l | 0.17 | 0.06未満 | 0.06未満 | 0.008 | 0.06未満 | 0.007 |

※1 廃棄物保有水：個/cm3、大沢川：MPN/100 mL

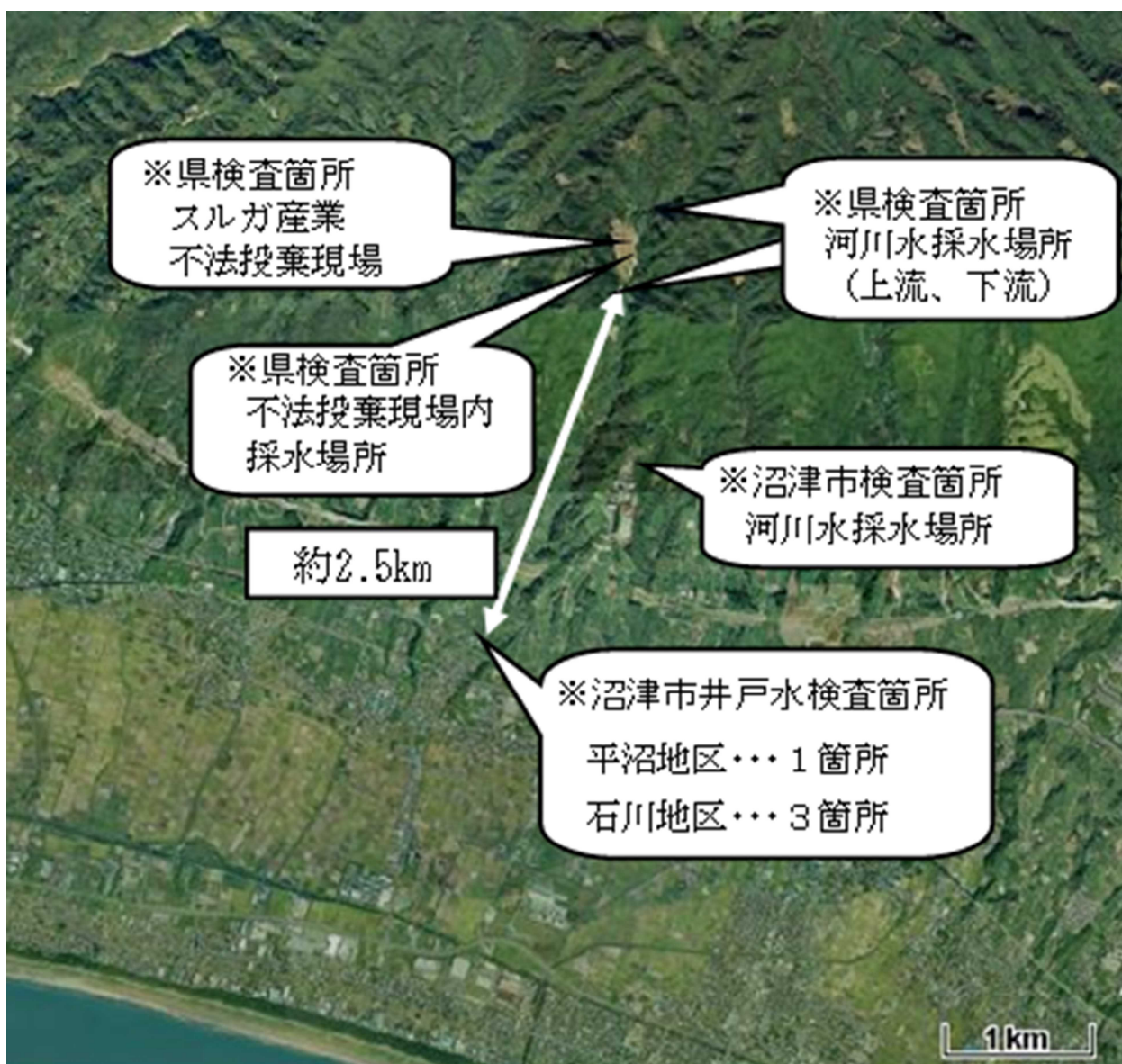
2 人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質

| 項目 | 単位 | 廃棄物層保有水 | | 現場上流側（大沢川） | | 現場下流側（大沢川） | |
|---------------|------|-----------------|--------------|----------------|------------|----------------|------------|
| | | 令元. 6. 28 採取 | 排水基準 等 ※2 | 令元. 7. 4 採取 | 環境基準 ※3 | 令元. 7. 4 採取 | 環境基準 ※3 |
| カドミウム | mg/l | 0.0003未満 | 0.03以下 | 0.0003未満 | 0.003以下 | 0.0003未満 | 0.003以下 |
| 鉛 | mg/l | 0.005未満 | 0.1以下 | 0.005未満 | 0.01以下 | 0.005未満 | 0.01以下 |
| 砒素 | mg/l | 0.005未満 | 0.1以下 | 0.005未満 | 0.01以下 | 0.005未満 | 0.01以下 |
| ほう素 | mg/l | 0.7 | 50以下 | 0.1未満 | 1以下 | 0.1未満 | 1以下 |
| ふっ素 | mg/l | 0.22 | 15以下 | 0.08未満 | 0.8以下 | 0.08未満 | 0.8以下 |
| アンモニア性窒素 | mg/l | 8.7 | — | 0.2未満 | — | 0.2未満 | — |
| 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素 | mg/l | 2.36 | — | 0.6 | 10以下 | 1.9 | 10以下 |

※2 最終処分場基準省令に定める排水基準等（参考）

※3 「水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境省告示第59号）別表2」に基づく。

不法投棄現場と検査井戸の位置関係



静岡県 GIS の地図を使用しています。